

平成 29 年度

土木部の運営方針

<部の構成>

土木総務課、道路河川管理課、道路河川補修課、道路河川整備課、公園みどり推進室、交通対策課、用地課

<担当事務>

- (1)道路及び交通に関すること。
- (2)公園及び緑化に関すること。
- (3)河川に関すること。
- (4)里山の保全及び振興に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	119名
再任用職員	15名
任期付職員	-名
非常勤職員	2名
合計	136名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

土木部では、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちをめざし、道路や公園、河川などの都市基盤整備を行うとともに、自転車の安全利用をはじめとする交通安全の啓発や、快適な生活空間を創造するためにみどりの保全や緑化の推進に取り組みます。

また、事業の実施にあたっては、その効果や緊急性などの優先度に、中長期的な視点も加え選択と集中を行うとともに、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら進めます。

平成 29 年度は、総合交通計画の策定に引き続き取り組むとともに、枚方市駅など市内主要駅周辺の交通環境の改善、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出など安全・安心な交通環境の実現に向けた取り組みを進めます。また、本市の交通体系の軸となる牧野長尾線、中振交野線及び御殿山小倉線等の都市計画道路の整備や、東部公園の利便性の向上と利用促進を図るなど、都市基盤整備を着実に進めます。

香里ヶ丘中央公園の再整備については、香里ヶ丘地域の活性化に寄与する施設となるよう、図書館整備と一体的に取り組むほか、まちなか緑化やみどりの保全を持続的・効果的に推進できるよう、多様な主体が連携して活動する基盤となるみどりのプラットフォームづくりに取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合交通計画の策定

目標	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、「枚方市総合交通計画」の策定に向けた取り組みを進めます。
取り組み	市民や各交通関係機関が参画する協議会を適宜開催し、必要となる施策や事業、また推進体制等について議論を行い、平成 29 年度末に計画を策定します。
	平成 29 年度当初予算：12,375 千円

(2) 都市計画道路整備事業

目標	都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。
取り組み	本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路については、安全で円滑な交通環境を構築するため、新名神高速道路や第二京阪道路へアクセスする牧野長尾線や長尾杉線、さらに緊急時の避難経路や輸送経路、また、安全な歩行空間の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。新名神高速道路並びにアクセス道路となる内里高野道線及び淀川を渡河する牧野高槻線については、事業者に対して周辺環境に十分配慮した道路として整備されるよう働きかけを行い、早期完成に向け取り組みます。
平成 29 年度当初予算：2,134,884 千円（都市計画道路整備事業）	

(3) 市内主要駅周辺の交通環境の改善

目標	市内主要駅（枚方市駅、御殿山駅、樟葉駅）周辺の交通混雑や公共交通の利用環境、また、安全・安心な歩行空間など、交通環境の改善に向け取り組みます。
取り組み	<p>枚方市駅周辺については、枚方市駅周辺再整備ビジョンの将来像を見据え、引き続き、（仮称）総合文化芸術センターへの歩行者動線の強化や駅高架下道路等を活用したバスを中心とする公共交通の環境改善、また、天野川に沿った外周道路の暫定整備に向けた検討を進めます。</p> <p>《枚方市駅周辺の交通に係る取り組み箇所図》</p>  <p>樟葉駅周辺については、駅前ロータリーの交通環境の改善に向けた整備に係る基本設計に着手し、また、御殿山駅周辺については、御殿山踏切の安全対策など歩行者や駅利用者の安全・安心な歩行空間の確保に向け、関係機関との協議を進めます。</p> <p>平成 29 年度当初予算：5,000 千円（樟葉駅前ロータリー渋滞解消計画策定・推進事業）</p>

(4) 安全・安心な交通環境の創出

目標	安全・安心な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出に向け取り組みます。
取り組み	通学路等の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、第一藤阪踏切や中宮第2号線の拡幅工事、また、尊延寺狭戸線、磯島第4号線他の歩道整備を進めるとともに、引き続き藤阪駅周辺の歩道のバリアフリー化工事を進めます。あわせて、段差が大きい歩道の改良に向けた検討を行います。また、(仮称)枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画を策定するとともに、安全で快適な自転車通行空間の確保に向けた実施設計に着手します。
	平成29年度当初予算：36,477千円(中宮第2号線拡幅事業)、6,500千円(尊延寺狭戸線歩道設置事業)、21,000千円(磯島第4号線他歩道整備事業)、18,000千円(交通バリアフリー道路整備事業)、19,100千円(踏切道交通安全対策事業)、8,100千円(自転車通行空間整備事業)

(5) 道路・公園等の効率的・効果的な維持管理

目標	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
取り組み	道路や公園などの機能や安全性を確保するため、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。 また、安全な交通環境を確保するために、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯、橋梁及びトンネルについても予防・保全の観点で点検を行います。
	平成29年度当初予算：49,500千円(道路施設調査点検)、104,000千円(橋梁修繕・補強事業)、213,000千円(主要道路リフレッシュ整備事業)、50,000千円(公園改築等)

(6) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

目標	日常生活の中で自然とふれあい、親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整備を進めます。また、第2次里山保全基本計画やみどりの基本計画に基づき、多くのみどりを育み、人々がみどりとふれあうことのできるまちづくりを進めます。
----	---

取 組 み	<p>東部公園については、利便性の向上と利用促進を図るため、東部スタジアムに照明灯を設置します。星ヶ丘公園については自然環境を生かした開設エリアの拡大に向けて整備を進めます。また、天満川緑道については、安らぎの空間と災害時における避難路としての機能を確保します。香里ヶ丘中央公園については、香里ヶ丘図書館の建て替えと連携を図り、まちの魅力を創出するため効果的な公園整備を進めます。</p> <p>里山保全については、第2次里山保全基本計画に基づき、市民等による森林ボランティアや企業による環境貢献活動を支援するなど、里山の活用を促進します。</p> <p>緑化推進については、市民や市民団体、事業者など多様な主体が連携して活動する基盤となるみどりのプラットフォームづくりに取り組みます。</p>
	<p>平成 29 年度当初予算：556,770 千円（公園整備）、1,515 千円（里山保全）、3,200 千円（みどりのプラットフォーム設置・運営）</p>

3. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	「東部公園」については、平成 31 年 4 月に都市公園内の有料施設（多目的運動広場等）が指定管理の更新時期となることから、同時期に合わせて指定管理の移行をめざします。
44. 交通安全教室の委託化	枚方・交野両警察署と連携して取り組んでいる「交通安全教室」について、効率的・効果的な執行を図る観点から平成 29 年度より市立小学校（全 45 校）を対象に歩行・自転車交通安全教室を民間委託により実施します。引き続き、保育所（園）、幼稚園、認定こども園についても民間委託による実施を検討します。
45-7. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（道路維持管理業務、公園維持管理業務）	緊急時や災害時等における直営での業務執行体制を確保しつつ、民間活力の効果的な活用の検討を進めるとともに、類似業務の一体的な運用に向けた取り組みを開始します。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と教育委員会が所管するスポーツ施設について、効率的・効果的な運営を図るため、平成 31 年度の管理運営体制の一元化に向けた検討を進めます。

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行います。
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施します。

4. 予算編成・執行

- ◆都市計画道路の整備、通学路の改良整備、主要道路リフレッシュ事業、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づく更新、改築等については、国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組みます。

	維持管理	建設事業	計
平成 29 年度 当初予算	13 億 2380 万円	43 億 4600 万円	56 億 6980 万円

5. 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。
- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。
- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。
- ◆道路・公園等の維持管理業務に係る類似業務の一体的な運用に向け、計画的に実務研修を行い、迅速・確実に業務を遂行する人材の育成に努めます。

6. 広報・情報発信

- ◆市民への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページに掲載する内容を精査し、情報発信のより一層の充実を図ります。また、メール等による通報や依頼に関する各課における業務の内容や対応方法等については、引き続き、効果的な手法を検討し、実施に向けた取り組みを進めます。



- ◆市民参加のイベント（山桜コンサート、緑化フェスティバル、菊花展、交通安全教室など）は、市民に参加を呼びかけるため、多数の機関にチラシの配布やポスター掲示などの協力を求めるとともに、フェイスブック、ツイッター、プレスリリースなどの情報発信に努めます。また、体験型のイベント（小菊・花しょうぶ等の講習会、里山講座、里山ウォーキング）を通じ、それぞれの取り組みや活動内容をより身近に感じてもらい、みどりや里山に関する意識の向上に努めます。

- ◆高齢者の交通安全知識の向上及び交通安全意識の高揚を図るため、広報啓発活動等を積極的に実施します。
- ◆東部公園では、第2期整備区域の完成を祝して5月に記念式典を開催し、公園の利用促進を図ります。
- ◆持続可能な交通を実現するため、市民や事業者とともに、公共交通の利用促進に向けた啓発に努めます。
- ◆土砂災害特別警戒区域に指定された区域内の建築物の移転や補強に対し国や大阪府と連携して支援を行う補助制度について、指定区域の周知と併せて情報発信に努めます。



《東部公園 大型複合遊具》